

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870105685
法人名	医療法人啓蟄会
事業所名	グループホームお城下
所在地	愛媛県松山市千舟町4丁目4番地5西田千舟町ビル
自己評価作成日	H22年10月10日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 **※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載**

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成22年10月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

経営母体の西田クリニックとの医療連携。自由にして行動制限しない。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

母体である医療機関は先々代から松山の中心部でクリニックを開業しており、2階にクリニック、3階と4階に事業所、5階に法人事務所がある。利用者の健康管理には普段から十分気を付けており、適切な医療が受けられる体制が整っている。オーナーや管理者は、利用者本位の支援を心掛けており、職員も理解している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I. 理念に基づく運営
- II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

● 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

● 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

● 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

● 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

● 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

● チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 グループホームお城下

(ユニット名) つる

記入者(管理者)

氏名 福島真理

評価完了日 22年 10月 10日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<p>(自己評価) お城下の理念は易しい言葉で表されているが、その意味をみんなで考え支援の中に具現化するように努力している。また、入所系でありながら在宅の考え方で支援の継続性について随時話し合いを行っている。</p> <p>(外部評価) 理念を実践するために管理者は、具体的な取り組みを申し送りの時等に職員から聞いたり、必要な場合は指導を行っている。職員一人ひとりも理念を意識して日々のケアに取り組んでいる。</p>	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<p>(自己評価) 地域の人たちがどこにいるのかわからず、また利用者も重度化して、交流は難しくなっている。今年は三番町子どもみこしにホームの中へ来てもらってとても喜んでもらった。</p> <p>(外部評価) バザーなどの公民館行事に積極的に参加しているが、事業所のある地域は商店が多く、ドーナツ化現象で住民が激減しているうえ、高齢化が激しく地域とのつきあいが難しくなっている。</p>	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<p>(自己評価) 近いところで利用者様のよく行くコンビニの人たちとの交流はある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議と行事の組み合わせ、また本年度はスタッフに順番で、いろいろな活動の発表をしてもらっている。	
			(外部評価) 地区の民生委員や事業所のあるビルの1階にあるコンビニのオーナーにも参加してもらい、家族や利用者も気軽に参加できている。職員が研修会に参加して得たことを発表したり、カラオケ大会を同時開催する等工夫をしている。	運営推進会議の議事録は、振り返りのための大切な材料であることから、可能な限り詳細に記載することを期待したい。また議事録の様式や記載方法を統一する等、運営推進会議をより有意義な会とするために今後の取り組みに期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 介護保険課への相談や報告を随時行っている。	
			(外部評価) 市や包括支援センターと困難事例を協働して解決したこともあり、良好な関係が構築されている。生活保護を受給している利用者について市のケースワーカーとの連携も十分とれている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 理解して実践している。拘束が本人をどんな気持ちにさせるか、自分だったらどう思うか話し合っって拘束をしない実践をしている。その人によって工夫し畳の部屋を作っている。	
			(外部評価) 玄関の施錠はしておらず、自由に外出することができる。利用者の中には這って移動する方もいるが管理者は、利用者の行動を制限しないよう職員に伝え、職員も理解している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) ホーム内で常に話し合い事例をとうしてみんなの注意を喚起し実践している。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 制度について話し合う事はあるが、今は利用は無い。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入所時のあわただしい時を避け事前または入所して落ち着いてから十分に説明し、また質問を受けて納得を得ている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご利用者のご希望を聞きできることからできるだけ早く実行している。できないことも誠実に説明して了解を得る努力をしている。 (外部評価) 事業所のあるビルの中に法人の事務所があり、利用者や家族から意見や要望が出た場合はすぐにオーナーに報告や相談している。運営に反映させるべきことは迅速に対応し、家族等にも説明できている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 反映している。実現可能な改善点から取り組んでいる。みんなでチームで援助を行っていくという実感がわくよう努力している。 (外部評価) 管理者は介護の現場で職員と一緒にケアにあたり、職員の意見が聞き取れるよう準備している。また、管理者はオーナーと職員の橋渡しを役割の一つとして認識している。力を合わせて利用者のために頑張ろうとしている姿勢が職員からもうかがえる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 努めている。常に勤務との調整を行いながらできるだけ研修を行っている。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 今年は内部研修を行い、教える側と受ける側での自己研修が出来たと思っている。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 運営推進会への参加、またお招きしている。	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) ご本人の不安を軽減したり溶け込め安いい雰囲気づくりを心がけている。ご家族が認知症を認めたくない気持ちもあり、御本人の真実を見られない場合も多々あるが、ご家族のプライドに配慮しつつ、少しずつ御本人の自然な姿、気持ちを気づいていただくよう配慮している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) ご利用のはじめに見学をしていただきホームの雰囲気を感じていただいている。ご家庭を訪問して御本人の普段の姿を知るように努めている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) ご希望をよく聞き、ホームで受け入れることのできるかできないかを見極め、他のサービスを提案もしている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 自立支援の立場から、できる所はしていただき、話し合いながら作業など行っている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族との話し合いのできる協力はしていただいている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 行っている。自由にご本人が家族に電話をしたり、家族と出かけたり、外泊も行っている。面会時間も常識範囲内で自由だから、面会者は非常に多い。 (外部評価) 馴染みの商店街は散歩コースとしてよく利用している。商店街の店には車いすが入らない場合が多いので、買い物は昔からある大型百貨店に行くことが多い。小学校や公民館の行事には利用者の体調を考慮しながら、可能な限り参加するよう心掛けている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) お気に入りの人と自由に、話したりお部屋を訪ねあったり、されている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) ご本人やご家族が希望されれば、行っている。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 食の嗜好や、生活習慣などさまざまな点でご家族からの話や、聞き取りの中で汲み取り、できるだけ自由に窮屈でない生活のし方を個々にしてもらっている。 (外部評価) 思いや意向を伝えることのできる利用者からは、随時聞き取りを行っている。思いを伝えることのできない利用者は、家族に聞き取ったり本人本位でケアができるよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) できるだけ御本人の心情を害さない範囲で普段のお話の中からその人らしい考え方や、行動など把握に努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 申送り、連携を取って知った情報をみんなで共有し御本人の今の状態をできるだけ正確に把握し援助に反映している。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) みんなで月一回モニタリングを行い今の援助目標で御本人の状態にあった援助ができていないか、確認している。また新しい課題を見つけ目標達成できるよう援助している。 (外部評価) ケース検討会の中で申し送りノートや職員の情報を持ち寄り話し合いを行い原案を作り、それを元に計画作成者が作り上げている。職員全員が理解をしており、家族にも了解をとっている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 行っている。経験の浅いスタッフには例を挙げて記録の仕方や、情報の援助への活かし方を教えている。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 行っている。マニュアルどおりに行うべき事と、その人の感性を生かすことと、両方をいかせる努力をしている。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 日課に当てはめない自由な雰囲気支援している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	<p>(自己評価)</p> <p>普段の受診に関しては、協力体制にある西田クリニッ クを受診しているが、特別にご本人が指定される主治 医があればご希望どおり受診してもらっている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>事業所のあるビルの中にオーナーのクリニックがあ り、普段からオーナーが利用者の様子を見に来る等、 健康管理には十分配慮されている。利用以前からのか かりつけ医には職員が送迎し受診している。歯科の訪 問診療もあり、必要に応じて適切な医療が受けられる 体制が構築されている。</p>	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	<p>(自己評価)</p> <p>行っている。クリニックのナース、ホームのナース介 護スタッフとの連携で、ご利用者様の体調変化につい て常に情報交換を行い体調管理に勤めている。</p>	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<p>(自己評価)</p> <p>行っている。ご相談によってご本人とご家族のご希望 どおり行っている。入院などの際は主治医からの情報 提供介護現場からの情報提供も行っている。</p>	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>重度化に対応できるように西田クリニックとの連携で お看取りまでの援助を行っている。入所時や、時期に 応じて、主治医、ケアマネ、ご家族との話し合いを 行っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用開始時、家族に十分な説明をし、必要に応じて話 し合いをしている。オーナーが医師で、職員に看護師 が配置されているため十分な対応が可能である。看取 りの経験もあり、利用者や家族は安心できる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) すべてではないが行っている。現在はホームのナース、クリニックのナース、主治医まですばやく連絡が取れる体制を整えている。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 消防講習者2名、消防訓練、年2回常に事故を未然に防ぐよう注意を払って業務を行っている。毎日の申し送りに注意喚起を行っている。立地的に地域との協力体制に苦心している。 (外部評価) 年2回の避難訓練を行い、運営推進会議の中等で消防署員に指導を仰いでいる。また、消防の講習に職員を積極的に参加させ知識や技術を習得している。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 話し合いをしたり内部研修を行い、姓名の呼び方や折り目正しい接し方など、常に再認識をするようつとめている。 (外部評価) 利用者の呼び方にも十分な配慮を職員一人ひとりが心掛けている。個人ファイルについては、扉のある棚に収納され、個人情報容易に漏れないよう保管されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 利用者様の気持ちを汲み取って意思決定ができるよう努力している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 行っている。その人によって自分の時計で行動できるよう配慮支援している。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 行っている。自分の好きな服。自分の好きな髪形思うように散髪屋さんと話しながら行ってもらっている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 行っている。自分お嫌いなものは食べなくても代替の食べ物を作っている。	
			(外部評価) 食事の準備や片付けは利用者の重度化に伴い難しくなってきたが、利用者の負担にならないよう気をつけながら食器拭き等手伝ってもらっている。希望により朝食をパンにしたり、身体状況に応じた食事形態にする等、工夫をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 行っている。その人の状態に応じて食事の形態を変えている。現在は普通食刻み食ミキサー食がある。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 自分で出来る人は自分で出来るところまで、できない人は職員の介助で行っている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 可能な限りトイレへ行ってもらっている。	
			(外部評価) ほとんどの利用者が何らかの介助や支援が必要であるが、排泄のパターンや時間を考慮しながらトイレ介助をすることを基本としている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 取り組んでいる。リハビリ体操で動けない人も少しでも動けるよう工夫している。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 毎日入浴介助している。車椅子レベルの人は2人介助にてできるだけ湯船につかってもらっている。	
			(外部評価) 機械浴の設備もあるが、職員2人で介助し普通に入浴できるよう支援している。自分で入浴ができる利用者は毎日でも入浴できるよう環境を整えている。入浴が苦手な利用者は、職員がタイミングを見て声をかけたり工夫をしている。	介助を必要とする利用者が多く、利用者の希望どおりに入浴を実施することは困難であることは一定の理解はできるが、可能な限り利用者の意向に配慮し職員配置を見直す等の工夫をしながら、さらなる取り組みを期待したい。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 基本的に日課は無く、自由に自分の時間帯で過ごしてもらっている眠る時間も、場所も強要していない。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 行っている。症状や状態について常に申し送りし、こまめに確認し主治医に相談して指示をもらっている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 基本的に自由日課なので自分のしたいことしたいようにしてもらい外出レクリエーションを自由参加で少人数で行っている。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) ご家族の協力をいただき、好きなときに行きたいところへ行ってもらっている、近所への買い物も介助している。	
			(外部評価) 家族が頻繁に面会に訪れ、一緒に外出する利用者が多い。日常の散歩で商店街に行ったり、大型百貨店での買い物、外食も楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) している。小口預かり金から個人に持ってもらうことで自分で支払いをしていただいている。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 行っている。手紙を出しに行ったり自分で電話をかけたり自由に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 掃除の行き届いた清潔な環境づくりに勤めている。また季節季節で野の花などを飾っている。施設全体に明るい感じに努めている。	
			(外部評価) ビルの中にある事業所であるため特別な装置を備え自然な光が取り入れられるよう工夫されている。ソファや家具を機能的に配置し利用者同志がふれあえたり、ゆっくりくつろげるよう配慮されている。壁には行事の写真や季節の飾り等が貼られる等華やかである。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 椅子やソファの配置を変えたり、孤立する人の無いよう努力している。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) ご自分の気に入った馴染みのものを配置したり、好きな写真を飾ったりその人なりに、自由に行っている。	
			(外部評価) 家具やテレビ、お気に入りの飾り等思い思いの物が持ち込まれ利用者の居心地がいいように配置されている。利用者の身体状況により、畳を敷いている居室もある。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) できる範囲でできることを疲れない程度行っている。	

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870105685
法人名	医療法人啓蟄会
事業所名	グループホームお城下
所在地	愛媛県松山市千舟町4丁目4番地5西田千舟町ビル
自己評価作成日	H22年10月10日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 ※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成22年10月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

経営母体の西田クリニックとの医療連携。自由にして行動制限しない。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

母体である医療機関は先々代から松山の中心部でクリニックを開業しており、2階にクリニック、3階と4階に事業所、5階に法人事務所がある。利用者の健康管理には普段から十分気を付けており、適切な医療が受けられる体制が整っている。オーナーや管理者は、利用者本位の支援を心掛けており、職員も理解している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I. 理念に基づく運営
- II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム＝一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 グループホームお城下

(ユニット名) かめ

記入者(管理者)
氏名 阪森サチ子

評価完了日 22 年 10 月 10 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<p>(自己評価) お城下の理念は易しい言葉で表されているが、その意味をみんなで考え支援の中に具現化するように努力している。また、入所系でありながら在宅の考え方で支援の継続性について随時話し合いを行っている。</p> <p>(外部評価) 理念を実践するために管理者は、具体的な取り組みを申し送りの時等に職員から聞いたり、必要な場合は指導を行っている。職員一人ひとりも理念を意識して日々のケアに取り組んでいる。</p>	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<p>(自己評価) 地域の人たちがどこにいるのかわからず、また利用者も重度化して、交流は難しくなっている。</p> <p>(外部評価) バザーなどの公民館行事に積極的に参加しているが、事業所のある地域は商店が多く、ドーナツ化現象で住民が激減しているうえ、高齢化が激しく地域とのつきあいが難しくなっている。</p>	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<p>(自己評価) 近いところで利用者様のよく行くコンビニの人たちとの交流はある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議と行事の組むあわせ、また本年度はスタッフに順番で、いろいろな活動の発表をしてもらっている。	
			(外部評価) 地区の民生委員や事業所のあるビルの1階にあるコンビニのオーナーにも参加してもらい、家族や利用者も気軽に参加できている。職員が研修会に参加して得たことを発表したり、カラオケ大会を同時開催する等工夫をしている。	運営推進会議の議事録は、振り返りのための大切な材料であることから、可能な限り詳細に記載することを期待したい。また議事録の様式や記載方法を統一する等、運営推進会議をより有意義な会とするために今後の取り組みに期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 介護保険課への相談や方向を随時行っている。	
			(外部評価) 市や包括支援センターと困難事例を協働して解決したこともあり、良好な関係が構築されている。生活保護を受給している利用者について市のケースワーカーとの連携も十分とれている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 理解して実践している。拘束が本人をどんな気持ちにさせるか、自分だったらどう思うか話し合っって拘束をしない実践をしている。	
			(外部評価) 玄関の施錠はしておらず、自由に外出することができる。利用者の中には這って移動する方もいるが管理者は、利用者の行動を制限しないよう職員に伝え、職員も理解している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) ホーム内で常に話し合い事例をとうしてみんなの注意を喚起し実践している。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 制度について話し合う事はあるが、今は利用は無い。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入所時のあわただしい時を避け事前または入所して落ち着いてから十分に説明し、また質問を受けて納得を得ている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご利用者のご希望を聞きできることからできるだけ早く実行している。できないことも誠実に説明して了解を得る努力をしている。 (外部評価) 事業所のあるビルの中に法人の事務所があり、利用者や家族から意見や要望が出た場合はすぐにオーナーに報告や相談している。運営に反映させるべきことは迅速に対応し、家族等にも説明できている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 反映している。実現可能な改善点から取り組んでいる。みんなでチームで援助を行っていくという実感がわくよう努力している。 (外部評価) 管理者は介護の現場で職員と一緒にケアにあたり、職員の意見が聞き取れるよう準備している。また、管理者はオーナーと職員の橋渡しを役割の一つとして認識している。力を合わせて利用者のために頑張ろうとしている姿勢が職員からもうかがえる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 努めている。常に勤務との調整を行いながらできるだけ研修を行っている。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 今年は内部研修を行い、教える側と受ける側での自己研修が出来たと思っている。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 運営推進会への参加、またお招きしている。	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) ご本人の不安を軽減したり受け入れやすい雰囲気づくりを心がけている。ご家族が認知症を認めたくない気持ちもあり、御本人の真実を見られない場合も多々あるが、ご家族のプライドに配慮しつつ、少しずつ御本人の自然な姿、気持ちを気づいていただくよう配慮している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) ご利用のはじめに見学をしていただきホームの雰囲気を感じていただいている。ご家庭を訪問して御本人の普段の姿を知るように努めている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) ご希望をよく聞き、ホームで受け入れることのできるかできないことを見極め、他のサービスを提案もしている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 自立支援の立場から、できる所はしていただき、話し合いながら作業など行っている。声がけをして動作を促し時間がかかってもしてもらっている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族との話し合いのできる協力はしていただいている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 行っている。自由にご本人が家族に電話をしたり、家族と出かけたり、外泊も行っている。面会時間も常識範囲内で自由だから、面会者は非常に多い。 (外部評価) 馴染みの商店街は散歩コースとしてよく利用している。商店街の店には車いすが入らない場合が多いので、買い物は昔からある大型百貨店に行くことが多い。小学校や公民館の行事には利用者の体調を考慮しながら、可能な限り参加するよう心掛けている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) お気に入りの人と自由に、話したりお部屋を訪ねあったり、されている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) ご本人やご家族が希望されれば、行っている。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 食の嗜好や、生活習慣などさまざまな点でご家族からの話や、聞き取りの中で汲み取り、できるだけ自由に窮屈でない生活の仕方を個々にしてもらっている。 (外部評価) 思いや意向を伝えることのできる利用者からは、随時聞き取りを行っている。思いを伝えることのできない利用者は、家族に聞き取ったり本人本位でケアができるよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) できるだけ御本人の心情を害さない範囲で普段のお話の中からその人らしい考え方や、行動など把握に努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 申送り、連携を取って知った情報をみんなで共有し御本人の今の状態をできるだけ正確に把握し援助に反映している。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) みんなで月一回モニタリングを行い今の援助目標で御本人の状態にあった援助ができていないか、確認している。また新しい課題を見つけ目標達成できるよう援助している。個別援助目標をたてている。 (外部評価) ケース検討会の中で申し送りノートや職員の情報を持ち寄り話し合いを行い原案を作り、それを元に計画作成者が作り上げている。職員全員が理解をしており、家族にも了解をとっている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 行っている。経験の浅いスタッフには例を挙げて記録の仕方や、情報の援助への活かし方を教えている。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 行っている。マニュアルどおりに行うべき事と、その人の感性を生かすことと、両方をいかせる努力をしている。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 日課に当てはめない自由な雰囲気支援している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	<p>(自己評価)</p> <p>普段の受診に関しては、協力体制にある西田クリニ ックを受診しているが、特別にご本人が指定される主治 医があればご希望どおり受診してもらっている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>事業所のあるビルの中にオーナーのクリニックがあ り、普段からオーナーが利用者の様子を見に来る等、 健康管理には十分配慮されている。利用以前からのか かりつけ医には職員が送迎し受診している。歯科の訪 問診療もあり、必要に応じて適切な医療が受けられる 体制が構築されている。</p>	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	<p>(自己評価)</p> <p>行っている。クリニックのナース、ホームのナース介 護スタッフとの連携で、ご利用者様の体調変化につい て常に情報交換を行い体調管理に勤めている。</p>	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<p>(自己評価)</p> <p>行っている。ご相談によってご本人とご家族のご希望 どおり行っている。入院などの際は主治医からの情報 提供介護現場からの情報提供も行っている。</p>	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>重度化に対応できるように西田クリニックとの連携で お看取りまでの援助を行っている。入所時や、時期に 応じて、主治医、ケアマネ、ご家族との話し合いを 行っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用開始時、家族に十分な説明をし、必要に応じて話 し合いをしている。オーナーが医師で、職員に看護師 が配置されているため十分な対応が可能である。看取 りの経験もあり、利用者や家族は安心できる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) すべてではないが行っている。現在はホームのナース、クリニックのナース、主治医まですばやく連絡が取れる体制を整えている。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 消防講習者2名、消防訓練、年2回常に事故を未然に防ぐよう注意を払って業務を行っている。毎日の申し送りに注意喚起を行っている。立地的に地域との協力体制に苦心している。 (外部評価) 年2回の避難訓練を行い、運営推進会議の中等で消防署員に指導を仰いでいる。また、消防の講習に職員を積極的に参加させ知識や技術を習得している。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 話し合いをしたり内部研修を行い、姓名の呼び方や折り目正しい接し方など、常に再認識をするようつとめている。 (外部評価) 利用者の呼び方にも十分な配慮を職員一人ひとりが心掛けている。個人ファイルについては、扉のある棚に収納され、個人情報容易に漏れないよう保管されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 利用者様の気持ちを汲み取って意思決定ができるよう努力している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 行っている。その人によって自分の時計で行動できるよう配慮支援している。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 行っている。自分の好きな服。自分の好きな髪形思うように散髪屋さんと話しながら行ってもらっている。気に入りの美容院への介助もしている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 行っている。自分お嫌いなものは食べなくても代替の食べ物を作っている。 (外部評価) 食事の準備や片付けは利用者の重度化に伴い難しくなってきたが、利用者の負担にならないよう気をつけながら食器拭き等手伝ってもらっている。希望により朝食をパンにしたり、身体状況に応じた食事形態にする等、工夫をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 行っている。その人の状態に応じて食事の形態を変えている。現在は普通食刻み食ミキサー食がある。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 自分で出来る人は自分で出来るところまで、できない人は職員の介助でおこなっている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 可能な限りトイレへ行ってもらっている。	
			(外部評価) ほとんどの利用者が何らかの介助や支援が必要であるが、排泄のパターンや時間を考慮しながらトイレ介助をすることを基本としている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 取り組んでいる。リハビリ体操で動けない人も少しでも動けるよう工夫している。おやつに果物のジュースを出している。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 毎日入浴介助している。車椅子レベルの人は2人介助にてできるだけ湯船につかってもらっている。2、3日に一回入浴している。	
			(外部評価) 機械浴の設備もあるが、職員2人で介助し普通に入浴できるよう支援している。自分で入浴ができる利用者は毎日でも入浴できるよう環境を整えている。入浴が苦手な利用者は、職員がタイミングを見て声をかけたり工夫をしている。	介助を必要とする利用者が多く、利用者の希望どおりに入浴を実施することは困難であることは一定の理解はできるが、可能な限り利用者の意向に配慮し職員配置を見直す等の工夫をしながら、さらなる取り組みを期待したい。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 基本的に日課は無く、自由に自分の時間帯で過ごしてもらっている眠る時間も、場所も強要していない。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 行っている。症状や状態について常に申し送りし、こまめに確認し主治医に相談して指示をもらっている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 基本的に自由日課なので自分のしたいことしたいようにしてもらい外出レクリエーションを自由参加で少人数で行っている。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) ご家族の協力をいただき、好きなときに行きたいところへ行ってもらっている、近所への買い物も介助している。	
			(外部評価) 家族が頻繁に面会に訪れ、一緒に外出する利用者が多い。日常の散歩で商店街に行ったり、大型百貨店での買い物、外食も楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) している。小口預かり金から個人に持ってもらうことで自分で支払いをしていただいている。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 行っている。手紙を出しに行ったり自分で電話をかけたり自由に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 掃除の行き届いた清潔な環境づくりに勤めている。また季節季節で野の花などを飾っている。施設全体に明るい感じに努めている。時間的に窓の開閉をして空気を入れ替えをしている。	
			(外部評価) ビルの中にある事業所であるため特別な装置を備え自然な光が取り入れられるよう工夫されている。ソファや家具を機能的に配置し利用者同志がふれあえたり、ゆっくりくつろげるよう配慮されている。壁には行事の写真や季節の飾り等が貼られる等華やかである。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 椅子やソファの配置を変えたり、孤立する人の無いよう努力している。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) ご自分の気に入った馴染みのもを配置したり、好きな写真を飾ったりその人なりに、自由に行っている。	
			(外部評価) 家具やテレビ、お気に入りの飾り等思い思いの物が持ち込まれ利用者の居心地がいいように配置されている。利用者の身体状況により、畳を敷いている居室もある。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) できる範囲でできることを疲れない程度行っている。またご家族の希望があって、一人で散歩をしてもらっている。時間はいつも気にかけてる。	